

津山中央病院広報誌 「スマイル」

# Smile

2024

夏号

ご自由におとりください



特集

- ①アルツハイマー病の新薬「レカネマブ」について
- ②アルツハイマー病新薬に関するPET/CT 及びMRI 検査について

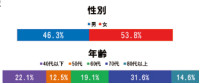
## 2023年度後期 患者満足度調査結果（外部門）

当院では、2023年12月18～22日の5日間に外来受診をされている患者さんを対象に患者満足度調査を実施しました。調査にご協力頂きました皆様改めて御礼を申し上げますと共に、ここに調査結果の概要（一部抜粋）をご報告致します。今回の調査結果を通じて、皆様から頂きました評価、ご意見、励ましの言葉等を全職員で共有し、今後もより良い病院づくりに取り組んでまいります。

### ○実施期間・配布数・回答数

実施期間	配布数	回答数（率）
2023年12月18～22日（5日間）	600枚	335（55.8％）

### ○回答者の内訳



### ○設問（一部抜粋）

#### 当院について、総合的にどう思われますか



#### 医師の診断や処置への信頼感



#### 看護師の患者の話を聞く姿勢



### ○ご意見（一部抜粋）

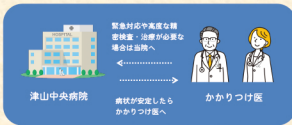
- ・患者さんが多いので仕方ないと思うけど、再診の待ち時間が長い。
- ・会計をクレジットカードやバーコード決済を導入してほしい。
- ・仕事のシフトが入ったとき、定期検診なので（急病でないため）休まず、予約変更不可なのでとても悩む。
- ・受付手順がわからず案内の方から声をかけていただいて、教えてもらったりこちらから尋ねても丁寧に答えていただけるので大変助かります。
- ・トイレの和式がいくつかありますがすべて洋式にしてほしい
- ・私は難病患者で、一人で車を運転して外来にきています。障がい者専用の駐車スペースが大抵満車で困る。
- ・車いすを1階ばかりでなくコンビニのころの入り口にもっと増やしてほしい。

## 津山中央病院の役割

私ども「津山中央病院」は地域の中核病院として「高度医療の提供・急性期疾患の対応・充実した救急医療の提供」を果たす役割を担っております。この3つの使命は、地域の皆様のご要望とも言うことができ、当院はこれを実現すべく、日夜、研鑽に励んでおります。

また「地域医療支援病院」の認定を受け、緊急対応や高度な精密検査が必要な患者さんなど、地域の医療機関からの紹介があれば迅速に対応できる体制を整えています。

当院の近隣エリアには、回復期リハビリテーション病院やかかりつけ医として日常的な診療や健康管理を行う診療所など、それぞれの特長を活かした医療機関があります。地域内での機能分化を進め、適切な場所で患者さんに最良の医療を受けていただけるよう、地域の医療機関との密な連携に取り組んでいます。



## かかりつけ医をもちましょう

かかりつけ医とは、日常の健康管理を行う近所のお医者さんです。あなたに気になる症状があればすぐに相談でき、万が一、専門的な検査・治療が必要となれば、当院を紹介してもらうことができます。

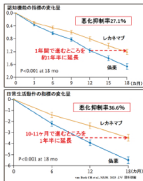
## 特集

# アルツハイマー病の 新薬 「レカネマブ」に ついて

アルツハイマー病は認知症の原因となる疾患の中で、頻度が最も多い疾患であり、認知症全体の約2/3を占めるとされています。アルツハイマー病の詳細な病態は未解明ですが、アミロイドβ及びタウ蛋白が関わっていると考えられています。



臨床試験では、レカネマブ投与により脳内のアミロイドβは著明に減少し、認知機能の指標において、レカネマブ投与群18ヵ月後と偽薬投与群12ヵ月後が同じレベルまであり、約半年間症状を先延ばしにできると報告されています。生活能力の低下も抑制することも示されています。有害事象としては、特に初回投与時の頭痛や発熱等の反応や、漏出血・脳浮腫などが報告されており、対応が定められています。



## レカネマブ治療の対象

### アルツハイマー病

#### アルツハイマー型認知症

治療候補	軽度	中等度	重度
認知症軽度	軽度	中等度	重度

※認知症評価 MMSE スコア 22 点以上 及び  
臨床認知症尺度 CDR 全数スコア 0.5 または 1 の方が対象

レカネマブはアミロイドβに対する抗体製剤で、アミロイドβを取り除くことでアルツハイマー病の進行を遅らせる治療薬です。適応となるのは、アルツハイマー病による軽度認知障害（症状の出始め、認知症の手前の状態）と軽度認知症の患者さんです。中等度・重度認知症のアルツハイマー病患者さん、アルツハイマー病以外の認知症患者さんは適応外となります。

#### 副作用

- ・初期に、注射したときに頭痛、発熱、発熱、吐き気などが現れることがあります。
  - ・数ヶ月以内に、脳が腫れたり、脳に少量の出血が生じたりするなどの報告があります。
- ※そのため、専門医療機関での注意深い観察、評価が必要とされています。

レカネマブは様々なメディアで取り上げられており、しばしば「使えないか」と外れてくることがあります。認知症（及び認知症になること）を心配している（患者さんやご家族に大きく期待されているように感じています）病気の原因に直接作用する薬であり、発症早期から進行を遅らせる画期的な治療ですが、残念ながらレカネマブを使用しても進行を止めることはできません。適応外となった方や副作用の過剰が困難な方は、認知症治療や精神症状を抑制する、従来の治療法を行うこととなります。なお、そもそもその作用機序や適応が違い、レカネマブと従来の治療法に優劣はありません。

レカネマブの治療を開始するためには投与施設・投与医師を満たしていますが、当施設・投与医師を要件としており、導入準備を進めております。南北の拠点病院として、最先端の医療を提供できるよう今後も努めて参ります。

大きな流れとしては、①認知機能検査や頭部MRIなどで軽度認知障害～軽度アルツハイマー病として予感しないことを確認  
②患者さん本人及びご家族がレカネマブの治療を希望することを確認  
③PET検査もしくは脳液検査によりアミロイドβの存在を確認（当院ではPET検査のみ行う予定です）  
④治療開始となります。治療は、1回1時間の点滴で、2週間毎に18ヶ月間、約40回行います。

#### レカネマブ治療のおおまかな流れ

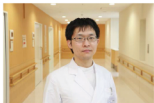
- ①認知機能検査や頭部MRIなどで軽度認知障害～軽度アルツハイマー病として予感しないことを確認
- ②患者さん本人及びご家族がレカネマブの治療を希望することを確認
- ③PET検査もしくは脳液検査によりアミロイドβの存在を確認（当院ではPET検査のみ行う予定です）
- ④治療開始となります。治療は、1回1時間の点滴で、2週間毎に18ヶ月間、約40回行います

津山中央病院  
神経内科 部長

角田 慶一郎 (つのだ けいいちろう)

専門医・指導医

- ・日本内科学会認定内科医
- ・日本神経学会神経内科専門医
- ・日本認知症学会認定専門医・指導医
- ・日本脳卒中学会認定脳卒中専門医



## 特集

### アルツハイマー病新薬に関するPET/CT及びMRI検査について



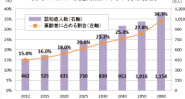
日本は、世界でもっとも高齢化率が高い国の代表であり、65歳以上の約4人に1人が認知症または軽度認知障害(MCI)であり、今後も有病率がさらに増加することが予想される日本において、認知症の予防医療は極めて重要であります。

検査の適用は上記新薬と同様です。新薬の投与前には必須の検査です。非侵襲的に脳内のAβと結合する性質を持つ薬剤を放射性核種で標識して製造したAβイメージング剤(フルルメタモル)を静脈内に注射して、PETカメラという核医学画像検査にて、その脳内分布を評価します。

結果は専門の医師が視覚的に陰性または陽性と判断します(図2)。陰性の場合はAβの沈着はないかまたはほとんどないです。陽性の場合は多くはアルツハイマー病と診断できますが、レビー小体型認知症や認知症を伴うパーキンソン病でも陽性となることがあります。

認知症のリスク因子として、高血圧、肥満、糖尿病、喫煙、運動不足、社会的孤立、聴覚障害などがありますが、最近アルツハイマー病に対する抗Aβイメージング(Aβ)抗体薬(疾患修飾薬)としてアメリカに続き、日本でもアルツハイマー病で脳内に沈着するAβを除去する効果がある新薬(レカネマブ: Lecanemab)が正式に使えるようになりました。

日本における認知症の人の将来推計



※各年齢の認知症有病率が上昇する場合の将来推計  
 ※出典：認知症施策推進総合戦略(新オレンジプラン)～認知症高齢者等にやさしい地域づくりに向けて～の概要(厚生労働省)を基に作成

認知症症状は様々な原因で発症しますが、アルツハイマー病以外では上記の新薬の効果が期待できませんので、除外診断が重要です。なかでも重要なのはMRI検査です。

アルツハイマー病と診断されても脳の中に出血後の変化や梗塞後の変化、脳腫瘍などがあると治療を受けることができず、様々な副作用が出現することがありますので、定期的にMRI検査を受ける必要があります。

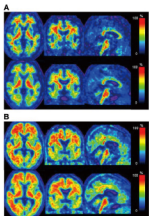


図2 A:アミロイドβ沈着陽性  
 B:アミロイドβ沈着陰性  
 (画像の引用文献:ishii K et.al. Journal of Nuclear Medicine Jan 2023; 64:153-158)

津山中央病院  
 放射線科主任部長  
 画像センター長

蘇島 護 (ふじしま まさる)

専門医・指導医

- ・日本医学放射線学会放射線診断専門医
- ・日本医学放射線学会研修指導者
- ・日本核医学会PET核医学認定医
- ・日本放射線学会放射線科専門医

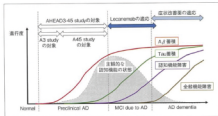


図1 Aβバイオマーカーと自覚的認知機能の推移 (EMERVISION (30-1) 2024より抜粋)

保険が適用されるのは、アルツハイマー病による軽度認知障害(MCI)および軽度の認知症であり(図1)、症状のない人や中等度以上の認知症は適用外です。アルツハイマー病では、発症する前から脳内のAβが沈着していると考えられ、AβイメージングPETではこのAβの沈着を可視化できます。



- 【小児科】 前島 敦 専門領域：小児一般、小児血液腫瘍  
日本小児科学会・日本専門医機構認定小児科専門医  
日本血液学会認定血液専門医  
日本がん治療認定医機構認定がん治療認定医  
CLIC 研修会修了
- 岸本 悠理 専門領域：小児一般
- 黒澤 健悟 専門領域：小児一般
- 深澤 達也 専門領域：小児一般

- 【整形外科】 小原 利輝 専門領域：整形外科全般
- 立花 和典 専門領域：整形外科全般

【救急集中治療科】

- 青置 達彦 専門領域：総合診療
- 山本 圭亮 専門領域：救急全般
- 久次 康樹 専門領域：救急全般

- 【麻酔科】 山下 航矢 専門領域：麻酔

- 【泌尿器科】 白神 壮洋 専門領域：泌尿器科全般

- 【放射線科】 川端 陸寛 (医長)  
専門領域：放射線診断  
日本医学放射線学会・日本専門医機構認定放射線専門医  
日本医学放射線学会認定放射線診断専門医  
日本医学放射線学会認定研修指導者  
日本 IIR 学会認定専門医・指導医

- 【皮膚科】 藤田 周作 専門領域：皮膚科一般

- 【歯科口腔外科】 室門 省二 専門領域：口腔外科  
日本口腔外科学会認定口腔外科認定医

- 【内科】 里見 拓也 (医長)  
専門領域：消化器内科  
日本内科学会認定総合内科専門医  
日本消化器病学会認定消化器病専門医  
日本消化器内視鏡学会認定消化器内視鏡専門医 (医長)
- 森本 光作 (医長)  
専門領域：消化器内科  
日本内科学会認定内科医  
日本肝臓学会認定肝臓専門医  
日本消化器病学会認定消化器病専門医  
日本消化器内視鏡学会認定消化器内視鏡専門医  
TNT(Total Nutrition Therapy)研修会修了
- 富田 和志 専門領域：消化器内科
- 森本 志帆 専門領域：腎臓内科
- 大澤 恵一 専門領域：内科一般
- 松原 弘樹 専門領域：内科一般

- 【外科】 三又 明日香 専門領域：乳癌外科  
日本外科学会・日本専門医機構認定外科専門医  
日本乳癌学会認定乳癌専門医

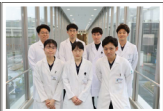
- 【循環器内科】 大丸 隼人 専門領域：循環器一般  
日本内科学会・日本専門医機構認定内科専門医
- 杉生 有広 専門領域：循環器一般
- 野俣 寛志 専門領域：循環器一般
- 児玉 悠理 専門領域：循環器一般

- 【産婦人科】 坂手 慎太郎 (部長)  
専門領域：産婦人科一般  
日本産婦人科学会認定産婦人科専門医・指導医  
日本周産期・新生児医学会認定周産期専門医  
日本産婦人科内視鏡学会技術認定医  
岡山県医師会母体保護法指定医師
- 杉原 百芳 専門領域：産婦人科一般

「フィットネスをスパカルヴァータ」は、今年で10周年を迎える事が出来ました。2024年5月に、地域の健康増進と津山中央病院の医療サポートに貢献けされた安全で安心な健康増進施設としてスタートしました。おかげ様で多くの会員の皆様の方に変えられ、節目の年を無事迎える事が出来た事を心より感謝申し上げます。今後は、人生百年時代を迎え、スタッフ一岡地域の皆様を健康生活を支援させて頂きたいとたく所存です。

カルヴァータは、ジム、プール、スタジオに加え、天然温泉を完備しております。運動はもとより、日常の疲労回復も同時に体感していただける施設となっております。温泉は、ミネラル成分が多く含まれ、お肌ツルツルなど美肌効果が高いと評価をいただいております。会員以外でもご利用いただけますので、ぜひ一度天然温泉の効能を二体感下さい。

また、運動施設については、最新のマシンを配置しているジムエリア、また円形の水中ウォーキングにしているプール、そして流行のプログラムを提供しているスタジオを2面ご利用し、運動が苦手な方も安心してご利用いただけるシステムをご用意しております。事前の体調チェック、身体測定、体組成測定（有酸素、姿勢診断、骨格）、体組成測定に合わせた、続けやすい個別プログラムを作成いたします。運動効果は継続かと言われるます。我々スタッフ全員で皆さんのフィットネスライフをサポートします。フィットネスクラブに不安を感じている方も安心してご利用下さい。



石部 健太 <岡山大学>	梅田 翔 <岡山大学>	北村 優都 <久留米大学>
五藤 岳 <岡山大学>	平山 真紀 <鳥栖大学>	森末 千尋 <岡山大学>
森本 尚基 <鳥取大学>		



## 表紙の写真（認知症マフ）



詳細はホームページでご確認いただき、ご予約、お問合せ下さい。  
電話 0866-21-9181  
http://www.carvata.jp



また、肩こり、腰痛、ひざ痛、慢性疲労、睡眠不足など体の不調を感じている方には、最新の筋電リリス機器「メディセルハブリット」を活用し、体を整え、体の痛み、機能を改善します。短時間で効果的な施術ですので、どなたでもご利用いただけます。



認知症マフとは、イギリスでは「Memory Muff」(手でいじる餅状防寒具)と言われ、疾病や施設で、認知症高齢者のケアのために使われている餅状のニット製品です。日本では、朝日新聞厚生文化事業団大阪事務所の方が2018年からワークショップを開催し、広報活動が始まりました。

カラフルで、毛糸のボールやかざりが顔の内外を彩ります。顔の中に手をいれるとふんわりあったかい。手触りの良い、カラフルなざりを触って楽しくすることで、ホッと落ちるくひとときや笑顔を提供したいと、出席でも月から「ハッピーマフの会」というクラブ活動をはじめ、マフを作成していき、皆さんへの安全面に配慮しながら、すでに12名の方へ提供し、「かわいー」と笑顔を見せてくださったリ、不安で落ち着かない方が増えていなりコミュニケーションがとれるようになるような効果もあらわれています。患者さんが着ていて治療を受けられ、笑顔を見せることが私たちの喜びにもなっています。

写真はクラブのメンバーが作成したマフの一部です。



私たち津山慈風会は、  
地域の皆さんにやさしく寄り添います

一般財団法人津山慈風会

# 津山中央病院

〒708-0841 津山市川崎1756  
TEL.0868-21-8111 (代表) FAX.0868-21-8200  
<https://tch.or.jp/>



津山中央病院  
ホームページ



津山中央病院  
YouTube  
チャンネル



津山中央病院  
Instagram



津山中央病院  
Facebook